

CAINZ

持ちやすく注ぎやすい カフェケトル

CZ-SYCK900-WH
CZ-SYCK900-DGY

【取扱説明書・保証書】

一般家庭用

(業務用としては使用しないでください)

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくため、「取扱説明書」を必ずお読みください。

「取扱説明書」は保管していただき、必要なときにお読みください。

CONTENTS

- 1. 安全上のご注意 P2
- 2. 各部のなまえ P5
- 3. 使いかた P6
- 4. お手入れ方法 P11
- 5. 故障かなと思ったら P13
- 6. 仕様 P14
- 7. 部品・消耗品 P14
- 8. 保証とアフターサービスについて P15
- 9. 保証書 P16



※イラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

1. 安全上のご注意 — 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない。
発火・感電・ケガの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

お子様、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない。
火傷・感電・ケガの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体の底部や電源プレート水をにつけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電の原因になります。



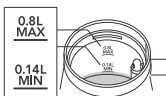
接触禁止

湯沸かし中や湯沸かし後は本体や注ぎ口、蒸気口に触れたり、手や顔を近づけない。
火傷の原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

満水目盛り (MAX 0.8 L) 以上の水を入れない。
湯がふきこぼれて、火傷・感電・ケガの原因になります。



禁止

ふたを開けたまま使わない。
湯沸かし中は、ふたを確実に閉めてください。
ふたを開けたまま使うと蒸気が漏れ、湯が流れ出て火傷の原因になります。



禁止

注ぎ口をふきんなどでふさがない。
湯がふきこぼれて、火傷の原因になります。



禁止

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢よくふったり、ふた (ふた開閉つまみ) を持って移動や排湯をしない。
湯がふきこぼれて、火傷・感電・ケガの原因になります。



禁止

本体を転倒させない。
湯が流れ出て、火傷の原因になります。本製品には給湯ロック機構は付いていません。ふたが閉まっても、転倒時の状況によっては注ぎ口などから湯が流れ出るおそれがあります。



ふたは確実に取り付ける。
倒れたときに湯が流れ出て、火傷の原因になります。



禁止

本体や電源プレートを落としたり、衝撃を加えたりしない。
感電・故障の原因になります。



禁止

本体の底部や電源プレートの接続部 (金属部) にピンなどの金属片やごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

ガス火にかけたり、電気ヒーター・IH調理器・電子レンジなどで使わない。
火災・熱による変色・変形・故障の原因になります。



本製品は一般家庭用途および次のような類似用途で使用する。

- 商店、オフィス、またはその他の作業環境にあるスタッフ用キッチンでの使用
 - 居間やキッチンなど住居に類似した環境での使用
- ただし、不特定多数による長時間の使用は避けてください。



禁止

水以外のものを入れたり、沸かししたりしない。

湯沸かし以外の目的では使わないでください。
牛乳・紅茶・酒・スープなどを入れて使うと、
泡立って内容物がふき出して火傷の原因になります。
また、ビンやカップ、レトルトパックなど液体以外
のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつ
きの原因になります。



禁止

氷を入れて保冷用に使わない。

冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故
障の原因になります。



**お子様が本製品で遊ぶことがないように
に注意する。**

火傷・感電・ケガの原因になります。



禁止

ふたを勢よく閉めない。

蒸気による火傷の原因になります。



**湯を注ぐときは電源プレートの接続部
に水がかからないよう注意する。**



**製品に異常が発生した場合は、すぐに使
用を中止する。**

製品に異常が発生したまま使用続けると、発
煙・発火・感電・漏電・ショート・ケガなどの
原因になります。

＜異常・故障例＞

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、
変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより
熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかった
りする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦
げ臭いニオイがする など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源
プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの
販売店またはシロカサポートセンターに点検・
修理を依頼してください。

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

**ぬれた手で電源プラグの抜き差しをし
ない。**

感電・ケガの原因になります。



禁止

**電源コードが傷んでいたり、コンセント
の差し込みがゆるいときは使わない。**

ゆるみやガタつきがあるコンセントを使用する
と、電源プラグと十分な接触が得られず、異常発
熱し、発火の原因となります。
コンセントにゆるみやガタつきのある場合は、
お近くの電気店に修理をご依頼ください。



禁止

**電源コード・電源プラグを破損するよ
うなことはしない。**

電源コードや電源プラグを以下のような状態で
使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
キズつける、加工する、無理に曲げる、高温部に
近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟
み込む、束ねる など



**電源コードが破損した場合、コードの交
換は危険を防止するために、お買い上げ
の販売店またはシロカサポートセン
ターに点検・修理を依頼する。**

感電・ショート・発火の原因になります。



**電源プラグの刃および刃の取り付け面
に付着したほこりはふき取る。**

ほこりが付着していると、火災・感電の原因に
なります。



プラグを抜く

**電源プラグを抜くときは、電源コードを
持たずに必ず電源プラグを持って引き
抜く。**

感電やショートによる発火の原因になります。



**電源が切れていることを確認してから、
電源プラグを抜き差しする。**

ケガの原因になります。



**AC100Vのコンセントを単独で使
用する。**

他の機器との併用により定格を超えると、発熱・
発火・火災・感電・故障の原因になります。



プラグを抜く

**お手入れをするときは必ず電源プラグ
をコンセントから抜く。**

火傷・感電・ケガの原因になります。



**電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災
の原因になります。**



禁止

**本体の底部や電源プレートの接続部(金
属部)をなめさせない。**

感電・ケガの原因になります。特に乳幼児には
触れさせないように注意してください。

使用上の注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない。

火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
じゅうたん、ふとん、畳、テーブルクロス、プラスチックの置台 など



禁止

壁や家具、カーテンの近くでは使わない。

火災・事故・変色・変形の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気の近くやIHクッキングヒーターの上で使わない。

変形・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない。

ショート・感電・故障の原因になります。



本体と電源プレートのあいだに汚れや異物がないか、接続部がぬれていないか確認して電源を入れる。

汚れや異物が挟まれたまま使うと、異常発熱し、火災・故障の原因になります。



禁止

ふたを外すときは出る蒸気に触れない。

火傷の原因になります。



禁止

ハンドルにガタつきがある場合は使用しない。

ケガの原因になります。



禁止

市販のタイマー機器を接続して使用しない。

故障の原因になります。



禁止

専用の電源プレート以外は使わない。
電源プレートは他の機器に転用しない。
発火・故障の原因になります。



禁止

湯沸かし中は、本体を移動しない。

湯が流れ出たり、蒸気に触れたりして、火傷の原因になります。



禁止

湯沸かし中は、ふたを外したり、湯を注いだりしない。

湯がふきこぼれ、火傷の原因になります。



禁止

空だきをしない。

水が入っていない状態で通電すると、故障の原因になります。



禁止

湯沸かし中や湯沸かし後はハンドル以外に触れない。

本体や電源プレート接続部が高温になるため、触れると、ケガ・火傷の原因になります。



お手入れは冷えてから行う。

高温部に触れ、火傷の原因になります。



持ち運ぶときやお手入れをするときは、注ぎ口の先端に注意する。

注ぎ口の先端は鋭利になっています。ケガをしないように注意してください。



プラグを抜く

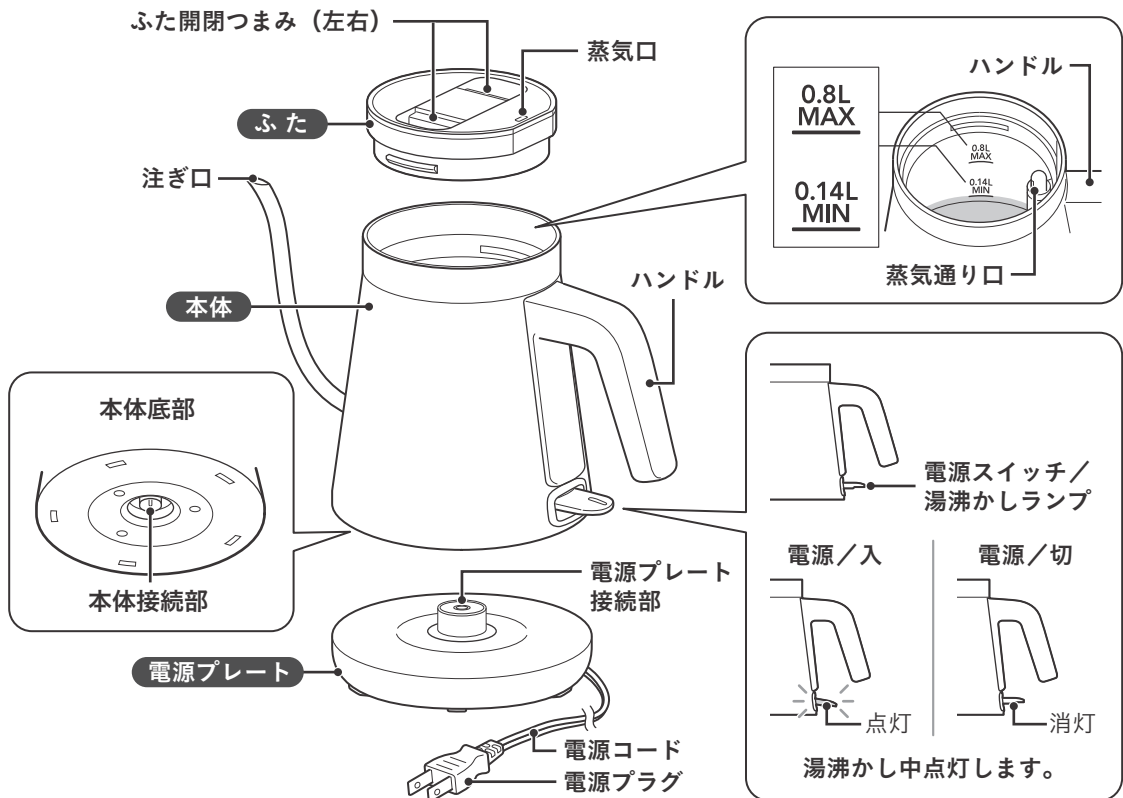
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

おしらせ

- 初めてお使いになるとき、ふたや本体内に水や白い跡が残っていることがあります。これは出荷前に湯沸かし検査などを行っているためです。一度湯を沸かし、注ぎ口から湯を捨ててご使用ください。

2. 各部のなまえ



▶ 転倒時湯漏れ防止機能の働き

この製品には、転倒時湯漏れ防止機能がついています。万一転倒したときに、ふた内のおもりが弁となり、湯漏れをおさえる構造です。
湯を注ぐときや、ふたを開閉するときの“カラカラ”という音は、おもりが動く音ですので故障ではありません。

本取扱説明書に記載の通りのご使用において、転倒したときの湯漏れをおさえる構造となっておりますが、給湯ロック機構は付いていないため、ふたが閉まっても、転倒時の状況によっては注ぎ口などから湯が流れ出るおそれがありますので、充分ご注意の上ご使用ください。

おしらせ

- この製品は、ケトル本体と電源プレートのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。
- 空だきをすると、空だき防止機能が作動して、ヒーターの加熱を一時的に停止します。

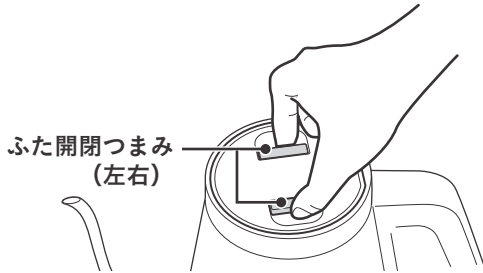
P 10

3. 使いかた

ふたの開閉

開けかた

ふた開閉つまみをつまみながら、上に持ち上げる



閉めかた

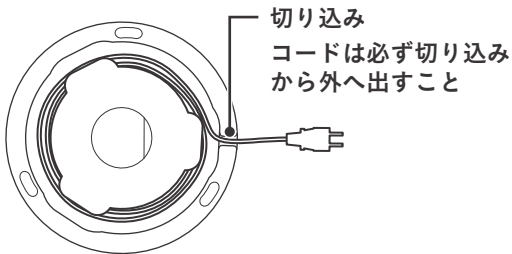
ふたと本体の形状を合わせて、“カチッ”と音がして2か所のツメがはまるまでしっかり上から押す



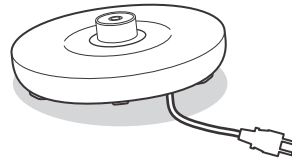
電源コードの長さ調節

電源コードを電源プレートの底面に巻き付け、長さを調節します。

電源プレート裏面



コードの上に乗り上げた状態で使用しない



湯を沸かす

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯を沸かし、注ぎ口から湯を捨ててご使用ください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

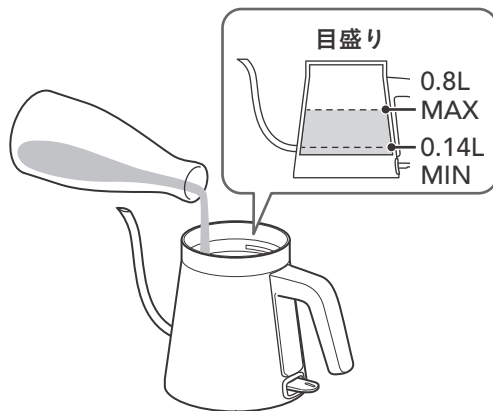
電源プレートの電源プラグをコンセントに差し込みます。

ご注意

- 電源プレートは、清潔で平らな場所に置いてください。

2 ふたを外し、水を入れる

別容器から本体に水を注ぎ入れます。



ご注意

- 本体に水を入れるときは、本体外部に水がかからないように注意してください。
- 電源プレートから本体を下ろした状態で水を入れてください。
- 流し台などのぬれた場所に置かないでください。
底面がぬれて故障の原因になります。
- 満水目盛り (MAX 0.8 L) 以上の水は入れないでください。
ふきこぼれの原因になります。
- 水以外のものを入れないでください。
- まれに本体の内側にしみが付いている場合がありますが、製造上の磨き工程によるものであり、衛生上問題ありません。気になる場合はクエン酸洗浄を行ってください。 **P 12**

3 ふたを取り付け、電源スイッチが「切」になっていることを確認して、電源プレートにのせる

ふたを“カチッ”と音がするまで確実に押し込みます。

電源プレートと本体のあいだに異物がないか、接続部やその周囲がぬれていないか確認してください。

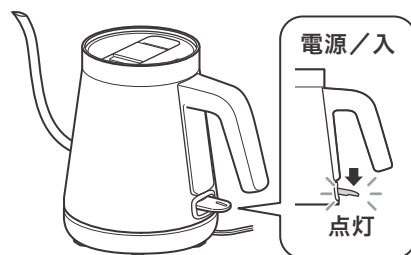
ご注意

- ふたがきちんと閉まっていることを確認してください。
ふたがきちんと閉まっていないと、湯が沸いても電源が切れないことがあります。
- AC100Vのコンセントを単独で使用してください。
他の機器との併用により定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



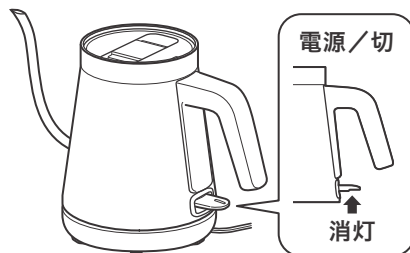
4 電源スイッチを下に押す

湯沸かしランプが点灯し、湯沸かしが始まります。



湯沸かしを中止したいときは

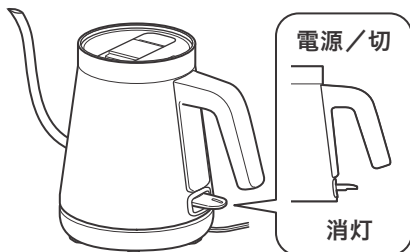
電源スイッチを上げて、電源を切ります。



湯沸かしが完了すると…

“カチン”という音とともに自動的に電源が切れ、湯沸かしランプが消灯します。

湯沸かしの目安時間	
140 mL	約1分30秒
満水時 (0.8 L)	約5分20秒



※水温、室温ともに23℃の場合

ご注意

- 湯沸かし中は、ふたを開けたり、手や顔を近づけたりしないでください。
火傷の原因になります。
- 湯沸かし中や湯沸かし完了直後は、本体が非常に高温になりますので、ハンドル以外に触れないようにしてください。
- 火傷の原因になりますので、以下の事項を守ってください。
 - ・ 注ぎ口にふきんをかけない
 - ・ 湯沸かし中は湯を注がない
 - ・ 湯沸かし中は移動させない
- 湯沸かし完了直後に電源スイッチを押し続けて、沸とうを無理に継続させないでください。
湯が吹き出て火傷の原因になります。

空だき防止機能について

本体内部が空の状態で電源スイッチを押すと、過熱による事故や故障を防ぐために空だき防止機能が働き、自動的に電源が切れます(湯沸かしランプが消灯します)。

▶ 空だき防止機能が働いたときは

- ① 本体を十分に冷ます
- ② 電源プレートから本体を外して水を入れる
- ③ 電源プレートにのせ、再度電源スイッチを入れる

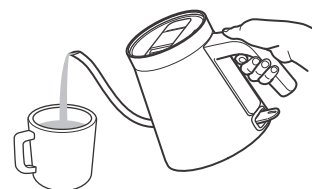
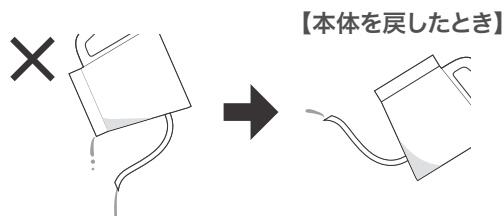
湯を注ぐ

1 湯沸かしランプが消灯していることを確認する

2 ゆっくりと本体を傾けて湯を注ぐ

ご注意

- 注ぐときは本体を急に、または深く傾けないでください。湯が出切らず本体に残り、ふたからこぼれたり、本体を戻した際に残った湯が注ぎ口から飛び出して火傷の原因となります。



お知らせ

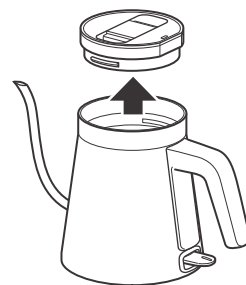
- 使用後しばらくすると、“カチン”と音がすることがありますが、これは熱せられた金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。
- この製品は蒸気を感じて電源が切れるしくみになっています。蒸気が本体の底や電源スイッチから水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。

残り湯を捨てる

使用後は湯を残さず、本体内部を空にしてください。

1 ふたを外す

2 本体をゆっくりと傾けて湯を捨てる



4. お手入れ方法

ご注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体が充分に冷めてからお手入れしてください。
火傷の原因になります。
- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。
表面をキズつける原因になります。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。
表面をキズつける原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。

ふた

- やわらかいふきんでふきます。
- 汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに中性洗剤を含ませてふき取ってください。

本体外部・電源プレート

ご注意

直接水をかけたり、丸洗いをしたりしないでください。

▶ 本体外部・電源プレートのプラスチック部分

- やわらかいふきんでふきます。
- 汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに中性洗剤を含ませてふき取ってください。



▶ 本体接続部・電源プレート接続部

乾いたやわらかいふきんでふきます。



本体内部

▶ 通常のお手入れ

水でよくすすぎます。その後、自然乾燥でよく乾かしてください。

おしらせ

- お使いになるうちに、水に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)が本体内部に付着します。
 - 虹色、黒色、乳白色などの変色
 - 赤さび状の斑点
 - 白い膜状の浮遊物これは湯あかといわれるもので衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水をお使いになると、湯あかが付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

▶ クエン酸洗浄(汚れがひどいとき)

- ① 水を満水目盛り(MAX 0.8L)まで入れ、クエン酸(30 g程度)を入れてかき混ぜる
- ② ふたを取り付けて沸とうさせ、その後、約1時間放置する
- ③ ふたを外して湯を捨て、水でよくすすぐ。汚れが残っているときは、やわらかいスポンジでこすり落とす
- ④ クエン酸のにおいが気になるときは、水を満水目盛り(MAX 0.8L)まで入れて再度沸とうさせ、湯を捨て、水でよくすすぐ

保管するときは

お手入れ後、よく乾かしてから、お買い上げ時の包装ケースに入れるか、ポリ袋などで密封して保管してください。

5. 故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

こんなとき	ここを確認してください
作動しない。 沸とう前に止まってしまう。	- 電源プラグが抜けていませんか。 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 - 本体が電源プレートに正しくセットされていますか。 本体を電源プレートの上に正しくセットしてください。 - 電源スイッチが切れていませんか。 電源スイッチを入れてください。 - 本体接続部および電源プレート接続部に金属片やごみが付着していませんか。 いったん電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜き、本体接続部や電源プレート接続部に付着している金属片やごみを取り除いてください。 - 水が入っていない状態で電源スイッチを入れていませんか。 水が入っていない状態で空だきをすると、空だき防止機能が作動して、自動的に電源が切れます。いったん本体を電源プレートからはずし、本体の熱を十分に冷ましてから水を入れて、湯を沸かしてください。
沸とうが止まらない。 沸とうしてもすぐに電源が切れない。	- ふたがきちんと閉まっていますか。 ふたは“カチッ”と音がするまでまっすぐに押し込んでください。 - この製品は蒸気を感じて電源が切れるしくみのため、沸とう後に自動的に電源が切れるまで多少の時間がかかることがあります。故障ではありません。
注ぎ口から湯がふき出る。	満水目盛り (MAX 0.8L) 以上の水を入れていませんか。 水は満水目盛り (MAX 0.8L) 以下にしてください。
湯沸かし中の音がいつもより大きい。	本体内部に湯あかなどが付着して汚れていませんか。 湯あかなどの汚れがひどくなると、湯沸かし中の音が大きくなります。クエン酸洗浄を行ってください。
湯に白い膜状のものが浮遊している。	ミネラルウォーターやアルカリイオン水をお使いになっていませんか。または、お手入れなしで長期間お使いになっていませんか。 水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分によるもので、本体内部の腐食や異常によるものではありません。ただし、ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分が多い水をお使いになると、湯あかが付着しやすくなります。汚れがひどい場合は、クエン酸洗浄を行ってください。
本体内部に赤さび状の斑点や虹色などの変色がある。	ミネラルウォーターやアルカリイオン水をお使いになっていませんか。または、お手入れなしで長期間お使いになっていませんか。 水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分によるもので、本体内部の腐食や異常によるものではありません。ただし、ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分が多い水をお使いになると、湯あかが付着しやすくなります。汚れがひどい場合は、クエン酸洗浄を行ってください。
本体の底や電源スイッチから水滴が垂れる。	この製品は蒸気を感じて電源が切れるしくみになっています。蒸気が本体の底や電源スイッチから水滴となって垂れることがあります。故障ではありません。
注ぐときや、ふたを開閉するときに“カラカラ”と音がする。	万一転倒したときに、湯が流出するのをおさえるためのおもりが動く音です。故障ではありません。
使用後しばらくすると、“カチン”と音がする。	熱せられた金属部分が冷めるときに発生する音です。故障ではありません。

6. 仕様

品名(型番)	持ちやすく注ぎやすいカフェケトル(CZ-SYCK900)
電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	900 W
定格容量	0.8 L
質量(約)	0.67 kg (本体・ふた)
	0.88 kg (電源プレート含む)
外形寸法(約)	幅 285 mm × 奥行 143 mm × 高さ 185 mm (電源プレート含む)
電源コードの長さ(約)	1.2 m
原産国	中国

- ・ 特定地域(高地、厳寒地など)では、所定の性能が確保できないことがあります。
- ・ 外観、仕様などを予告なく変更する場合があります。

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

7. 部品・消耗品

部品・消耗品の購入は、お買い上げいただいた販売店にてご注文を承ります。

部品名	部品コード
ふた	CZ-SYCK900L

8. 保証とアフターサービスについて

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名をご記入いただき、販売証明書を貼付してください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後5年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

—— 長年ご使用の製品の点検を! ——

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。
- ご使用前に必ずご確認ください、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - コードにキズがついたり、触れると通電したりしなかったりする
 - 本体が変形・破損していたり、焦げくさいにおいがする
- 定期的に「安全上のご注意」や使いかた、ご注意を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

—— お客様の個人情報のお取り扱いについて ——

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合